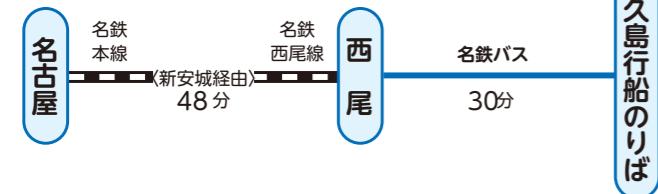


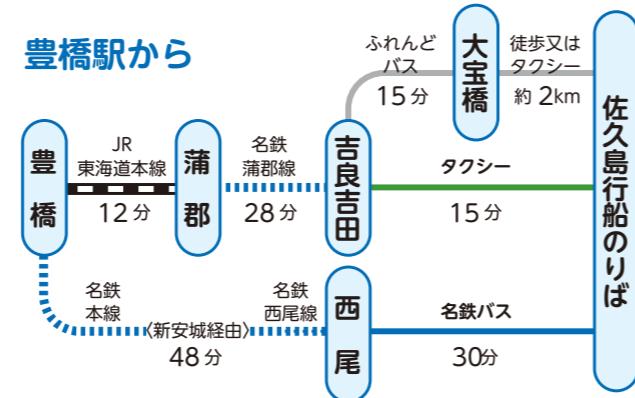
交通アクセス



名古屋駅から



豊橋駅から



乗船料(片道) 大人 830円 子ども (小学生以下) 420円 / 島民券 大人往復 1000円 子ども往復 500円

名鉄バス		渡船 (到着時刻は天候により変動あり)		
西尾駅発	さかな広場着	東港発	西港発	東港着
		6:30	6:50	7:00
		7:40	8:00	8:10
8:40	9:07	9:30	9:50	10:00
10:15	10:42	11:30	11:50	12:00
12:45	13:12	13:40	14:00	14:10
14:45	15:12	15:50	16:10	16:20
17:15	17:42	17:50	18:10	18:20

一色行き

渡船 (到着時刻は天候により変動あり)			名鉄バス	
東港発	西港発	一色港着	さかな広場発	西尾駅着
7:00	7:07	7:30		
8:30	8:37	9:00	9:18	9:47 9:50
10:10	10:17	10:40	11:05	11:34 11:34
12:30	12:37	13:00	13:23	13:51 13:55
14:50	14:57	15:20	15:35	16:03 16:04
17:15	17:22	17:45	18:00	18:28 18:29
18:20	18:27	18:50		

赤字は土、日曜日、祝日



- 知多半島道路 阿久比インターから 約40分
- 東名高速道路 岡崎インターから 約50分
- 蒲郡インターから 約1時間
- 国道23号 安城西尾インターから 約30分



※佐久島行き船のりばのある一色港は、900台の無料駐車場をご利用いただけます。

アクセス情報



【お問合せ先：西尾市役所佐久島振興課】

〒444-0424 愛知県西尾市一色町小薮船江東176番地 佐久島ナビステーション内
TEL: 0563-72-9607 FAX: 0563-72-3502 E-mail: sakushima@city.nishio.lg.jp

佐久島情報 チェックしよう！



佐久島公式サイト



三河・佐久島
アートプラン21サイト



佐久島アート
Instagram



三河・佐久島
アートプラン21Twitter



三河湾に浮かぶ愛知県西尾市の離島



人口 209人 / 116世帯

(令和4年4月1日現在)

一番人口が多かった
昭和22(1947)年には約1600人



佐久島って どんなところ?

島の80%以上が里山

2つの町内会 西地区の特徴 黒壁集落など昔からの家が多い 人口: 77人
東地区の特徴 民宿など観光業が盛ん 人口: 132人

佐久島の主な産業

漁業 アサリ漁、なまこ漁

観光業 旅館2、民宿5、食堂3、カフェ10

その昔は養蚕業、真珠養殖、海苔、野菜の出荷。
海水浴場は西、東にあったため、島には30数件の
民宿があり観光地として賑わっていました。



佐久島の交通

名鉄西尾駅から渡船場まで(30分)1日5便のバスが連絡

西尾市一色港から1日7便の船が往復

島内には公共交通機関なし。移動は徒歩、自転車、バイク、軽自動車。

年間観光客数

令和元年度 106,000人
令和2年度 75,000人
令和3年度 82,000人

令和2年3月から新型コロナウイルスの影響で
何度も来島制限をするなど影響を受けました。



公共施設



SAKUSHIMA

水道

電気

ごみ処理

情報通信

その他

海底送水管

海底送電ケーブル

可燃ゴミ、資源ごみ、粗大ごみは毎月1回台船で本土へ運搬。

生ごみについては、生ごみ処理機を西、東町内会で管理のもと運用している

令和元年12月に光回線を整備。令和2年8月から公共施設でWi-Fi運用開始

郵便局、JA西三河佐久島店でATM利用可。

野菜などほぼ自給自足で、スーパーと呼べる店舗なし(本土へ買い出し)。

保育園(3年保育)、小中一貫校



島のいろいろ

島を美しくつくる会

アートによる島おこしをサポートするために平成8(1996)年に発足しました。当時の島の若者達が力を合わせて新しい取り組みにチャレンジして現在の姿になりましたが、現在は新しい世代が受け継ぎ、新たな島を目指しています。右写真のボランティア活動も、島を美しくつくる会が主導で取り組んでいます。



藻場の再生(アマモの移植)

黒壁運動(景観保存)

島の学校

島では年々人口が減少して子どもが減っていくことに悩んでいました。「自然が豊かで人とのふれあいが学べる環境の学校を廃校にしたくない」との想いから平成15年4月からしおかぜ通学を開始しました。現在は、しおかぜ通学も続けながら小中一貫校(義務教育9年間)として新たな教育の展開をしています。

令和4年度児童生徒数

前期課程(小学校)島っ子4名、しおかぜ11名

後期課程(中学校)島っ子5名、しおかぜ7名

全校生徒27名で島の人に愛されながら交流体験重視の教育活動を行っています。

※しおかぜ通学: 指定通学区域を越えた入学。小規模特認制度



佐久島しおさい学校公式サイト

佐久島の伝統文化

昔から信仰心が厚く、小さな島でも三ヶ所の寺院(阿弥陀寺、正念寺、崇運寺)と六ヶ所の神社(筒島弁財天、八剣神社、白山社、津島社、恵比寿神社、浅間神社)があり、各神社のお祭りでは、伝統の佐久島太鼓が奉納されます。島民はこの伝統を受け継ぐため、佐久島しおさい学校の児童・生徒や、移住者に祭り太鼓や笛の演奏を指導しています。また島内には八十八ヶ所の佐久島弘法があり、旧暦の3月21日の弘法まつりでは、「お接待」が行われ、大人も子どもも弘法さんの祠ごとにお菓子をいただいだ島中を回ります。



佐久島クラインガルテン 佐久島暮らしにチャレンジできる

佐久島では定住者を増やすことが、島の活性化にとって必要不可欠です。佐久島クラインガルテンは、遊休農地の有効利用と佐久島の生活を体験してもらい、定住に繋げる取り組みとしてスタートしました。ロフト付きの木造平屋(菜園付)10棟(菜園付)が、1年単位の契約で最長5年まで更新が可能です。現在は光回線も整備され、令和3年度より法人向けの貸し出しも始まりました。在宅勤務、ワーケーションなど社員の福利厚生施設としての利用促進も図っています。本格的な移住に向けての足掛かりとしてご活用ください。

1区画利用料年間 502,850円(光熱・水道費別)

